

会 議 録

会議名	令和8年度 第2回 清新地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)	中央区役所 中央6地区まちづくりセンター 電話042-707-7049(直通)		
開催日時	令和8年6月24日(水)19:00～20:30		
開催場所	清新公民館 大会議室		
出席者	委 員	16人(別紙のとおり)	
	その他	1人(中央区役所地域振興課長)	
	事務局等	4人(中央6地区まちづくりセンター所長ほか3人)	
公開の可否	☒ 可 ☐ 不可 ☐ 一部不可	傍聴者数	1人
公開不可・一部 不可の場合は、 その理由			
会議 進行表	1 開会 2 会長あいさつ 3 市からの情報提供 4 議題 (1) 清新地区防災ガイドブック作成実行委員会による提案について (2) 食品ロス削減に向けた取組について 5 閉会		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(●は会長、○は委員の発言)

1 開会

事務局により開会

2 会長あいさつ

大山会長あいさつ

3 市からの情報提供

・清新地区担当職員の変更について

中央6地区まちづくりセンター所長より、表題の件について説明がされた。

・清新8丁目火災の対応について

中央区役所地域振興課長より、表題の件について説明がされた。

<主な意見・質問等>

特になし。

4 議題

(1) 清新地区防災ガイドブック作成実行委員会による提案について

大山会長より、防災ガイドブック作成にあたり実行委員会を設置した報告及び丹波委員より資料1の説明がされた。

●「清新地区防災ガイドブック作成実行委員会」を結成し、先日第1回実行委員会を開催。メンバーは、大山会長・齋藤委員・丹波委員・久須見委員・山中委員・菅原委員の6名である。

○今のところ10ページ構成を予定している。

	検討中の掲載内容
1ページ目	表紙、地震についての説明
2ページ目	地震に対する10の備え 自助と共助のアピール
3ページ目	地区内の小山小学校、清新小学校、清新中学校の3避難所、一時避難、在宅避難
4ページ目	在宅避難の方法、備蓄品、ローリングストック、ライフラインの確保
5、6ページ目	地図面

7ページ目	各避難所に関する情報提供
8～10ページ目	市や災害の情報、年齢に合わせた必需品、富士山等噴火に関する備え

- 掲載内容は「さがみはら防災ガイドブック」を参考にしており、清新地区版のガイドブックを作ることが目的である。掲載項目検討シートへのご記入及びご意見をいただきたい。最終的にはA4サイズで見開き10ページのガイドブックにしたい。「中央地区防災ガイド」も参考に考えてほしい。

次回の実行委員会では、意見の多いところを中心に反映させていきたいと思う。

<主な意見・質問等>

- 先日、小山2丁目自治会で防災訓練を実施した。自治会館を所有する自治会は、自治会館の中に備蓄があり、避難所も設置できると思う。一時避難場所として小山2丁目のみどり公園が書いてあるが何もない。みどり公園が一時避難場所なのは確かだが、それよりも自治会館に来てもらった方が、物資もあるし、お風呂もある。宿泊もできる。一時避難場所のみどり公園に行くのがいいのか、自治会館に来てもらってからみどり公園に行った方がいいのか。自治会の防災体制をうまく活かした方がいいと思う。
- ここで示したのは、防災資料に従って現在の一時避難場所を書き出しているだけである。一時避難場所は自治会で指定するため、作成にあたり、各自治会長へ確認をして、これでいいか検討をする。
- 公園と自治会館があるところは迷う。公園がないところは分からないが、これまでのように自治会長が示した場所が一時避難場所になるのは、論理が違う気がする。
- マップには、一時避難場所など分かりやすいようにマークを付けるのがよいか。自治会館があるところとないところで差が出てしまう。
- 自治会館を作ろうという声はあり、資料にも記載があるが、今の時代に避難場所として自治会館を作るのは大変。震度の大きさによって環境も変わるため、吟味して項目をマップの中に入れていきたい。
- 経験談や、知識など言葉にするのは大変なので、動画のQRコードを付け、詳しくはこちらとする手もある。
- 3ページ目の表に避難所、一時避難場所、自治会の順に記載があるが、自治会が最初に記載されている方が見やすい。
- 水害についての記載が全然見当たらない。過去に清新2丁目で被害があった。
- 清新地区は水害がないというイメージがあった。水害も載せられれば良いが、地震ベースで考えている。
- 防災、災害には火災も入ってくる。感震ブレーカーを推奨することも必要と考える。

○防災とは趣旨が異なるが、実際に災害が発生した後の手続き等について記載があると、各種証明書等の発行に役立つのではないかと。

○掲載項目検討シートをベースに、実行委員会で調整しながら進めていきたい。できれば、11月の防災訓練までに配れば良いと考えている。次回の実行委員会は7月9日に開催予定。

(2) 食品ロス削減に向けた取組について

大山会長より、資料2の説明がされた。

●過去2回にわたって、環境整備という形で提案をさせていただき、ポスターとチラシを作成した。企業の取組が周知されている昨今、一般市民の方の食品ロスは非常に多いと感じる。最近コンビニ等でも食品ロスを無くすためにある程度の時間が来たら、20%、30%引きと細かく割引をして、売る努力をしていた。これも、みんなに食べてもらうという一つの役割だと思う。

また、清新地区の子ども食堂は年7回実施しており、地域情報紙にも掲載しているが、更なるPRが必要と考える。こどもは100円、中学生以上は300円と差をつけているが、予定数より多く来場者がある状況である。こういった取組をPRし、子ども食堂の支援及び食品ロスを無くすことができないかと考える。

予算5万円程度でチラシ作成し、全戸配付したいと考えている。皆さんでご検討いただきたい。目的は子ども食堂のPRであり、資金的支援ではないことを理解してもらいたい。

<主な意見・質問等>

○食品ロスを一般家庭で考えた時に、極端に多く買い占めて捨てるようなことはしていないと感じる。どちらかというと、企業側である販売者や生産者に働きかけた方が効果あると思う。

●家庭から出るもの、企業から出るもの及び製造ラインでのロスなど種類があるが、提案したいのは、チラシひとつで、一般家庭の食品ロスをなくしていくこと。

最近賞味期限に対する意識が高まっており、2、3日過ぎると食べられないと判断し、処分されている。最近啓発チラシをあまり見かけないため、清新地区だけでも食品ロス削減を取り上げ、提案していきたい。

○包括支援センターでもフードバンク事業を行っており、生活困窮者に対して低価格で食品を提供している。

○フードバンクや子ども食堂で回収しても消費できないというのも難しいと思っている。

○子ども食堂も大切だが、大人も困っている人たちがいる。持ち込まれたものを自由に持って行ってもらえる場所が市内にもあるなら、そこをPRするのも良いと思う。

○炊き出しをしている人が、食品の提供依頼をしているのをテレビで見た。特定のところ

ろでしか実施していないため、集めるのも、持っていくのも大変と感じる。清新地区にそのような場所ができれば非常に良い。

○通学する生徒さんも、朝食べてこない子が非常に多い。緑区の団地の集会室では朝パンを1個あげているという情報がある。オギノパンから提供を受けていると聞いた。スーパーやコンビニに色々聞くと、メーカーにより値段を下げて売ることができる商品はあるが、食中毒が怖いと言っていた。食中毒が発生するとメーカーなどの責任になるため、余った物を地域に分ける、与えるということが、非常に難しいようである。

○食品ロス削減及び子ども食堂のPRをするためのチラシ作成のための5万円ということで理解した。

○フードバンクという仕組みを紹介することも大事ではないか。例えば、身近な清新公民館に受取窓口があれば、近いから行こうという発想になるかもしれない。物流集配機能があるとよいのではないか。

●この提案について、承認していただけるなら、次回提案できるようなチラシを作りたい。

○異議なし。

5 閉会

齋藤副会長により閉会

以 上

まちづくり会議委員出欠席名簿

No.	団体等	団体での役職等	氏名	出欠
1	清新地区自治会連合会	会長	大山 孝	出
2	清新地区自治会連合会	副会長	齋藤 直樹	出
3	清新地区自治会連合会		武田 邦雄	出
4	清新地区自治会連合会		丹波 晴道	出
5	清新地区社会福祉協議会	会長	山口 敏夫	出
6	清新地区社会福祉協議会	副会長	神谷 静枝	出
7	清新地区社会福祉協議会	会計	田所 洋子	出
8	清新地区民生委員・児童委員協議会	会長	久須見 美奈子	出
9	清新地区民生委員・児童委員協議会		浅見 治平	出
10	清新公民館	館長	木下 泰雄	出
11	清新公民館	スポーツ推進委員	高柳 博文	欠
12	清新地区老人クラブ連合会	会計監査	山中 森勝	出
13	清新中学校	校長	野口 宏之	出
14	清新こどもセンター	館長	押田 直子	欠
15	小山小学校 PTA			欠
16	小山中学校 PTA	副会長	渡辺 友巳	出
17	防犯指導員		磯崎 巧	出
18	清新公民館区青少年健全育成協議会	会長	片野 十二	出
19	清新地域包括支援センター	センター長	菅原 聡	出
20	南橋本商栄会	会長	雨宮 勇一	欠